

漢文「仮定・条件」識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosennsei.com) 無断転載禁止

はじめに

漢文の読解でカギになるのが**条件の表し方**です。縦書きの漢文（返り点つき）を読んで、ア～ウから選びましょう。

記号	条件	目印	意味
ア	順接仮定	如・若・苟（＋未然形＋ば）	もし～ならば
イ	逆接	雖（いへども）・縱（たとひ）	たとえ～でも／～だけれども
ウ	順接確定	（目印なしで已然形＋ば）	～ので・～すると

鉄則 - 「如・若」＝もし。「苟」＝いやしくも。これがあれば順接仮定（ア）。 - 「雖」＝いへども。「縱」＝たとひ。これがあれば逆接（イ）。 - 目印がなく「已然形＋ば」（有れば・行けば など）で続けば順接確定（ウ）。

採点表

部	問題	目標
第1部 基礎	Q1～Q20	18／20
第2部 標準	Q21～Q50	24／30
第3部 応用	Q51～Q80	21／30
第4部 入試	Q81～Q100	13／20

【第1部】基礎（Q1～Q20）

句法 **Q1.** 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如^シ
王
命^{ゼバ}。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し王命ぜば」。「もし王が命じたら」。

句法 Q2. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

雖^レ
小^{手リト}。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「小なりと雖も」。「小さいといっても」。

句法 Q3. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

春^タ
来^{レバ}。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「来たれば（已然＋ば）」。「春が来ると」。順接確定。

句法 Q4. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

若^シ雨^ラ降^バ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し雨降らば」。「もし雨が降れば」。

句法 Q5. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦^タ死^トす^モ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ死すとも」。「たとえ死んでも」。

読み方 Q6. 傍線部「如」の読み方として、ここで最も適切なものを選べ。

如
知。
シ
ラ
バ

ア もし

イ ごとし

ウ いへども

▶ 答え：ア 条件文の文頭にある「如し」は「もし」。書き下し「如し知らば」。「もし知ったら」。順接仮定。

現代語訳 Q7. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

苟
有
志。
ク
モ
ラ
バ
レ

ア たとえ志があっても

イ もし志があれば

ウ 志があるので

▶ 答え：イ 「苟くも」は「いやしくも・もし」。書き下し「苟くも志有らば」。順接仮定。

句法 Q8. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

水
至。
レ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「至れば（已然+ば）」。「水が至ると」。順接確定。

読み方 Q9. 傍線部「雖」の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで書いたものを選び。

レ 雖^シ 貧^ト。

ア もし

イ たとひ

ウ いへども

▶ 答え：ウ 「雖」は「いへども」。書き下し「貧しと雖も」。「貧しいけれども」。逆接。

句法 Q10. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

レ 如^シ 用^キ 言^バ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し言を用ゐば」。「もしその言葉を用いれば」。

句法 Q11. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

風
吹。
ケバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「吹けば（已然＋ば）」。「風が吹くと」。順接確定。

句法 Q12. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

雖
賢。
レ 手リト

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「賢なりと雖も」。「賢いといっても」。逆接。

現代語訳 Q13. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

若
許。
シ サバ

ア もし許せば

イ たとえ許しても

ウ 許すので

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し許さば」。順接仮定。

句法 Q14. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦ナリトモ貴。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ貴なりとも」。「たとえ高貴でも」。逆接。

句法 Q15. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

有レ徳レバ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「有れば（已然+ば）」。書き下し「徳有れば」。「徳があるので」。順接確定。

読み方 Q16. 傍線部「苟」の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで書いたものを選べ。

苟レ有過クモラバチ。

ア もし

イ いやしくも

ウ なほ

▶ 答え：イ 「苟くも」は「いやしくも」(もしの意)。書き下し「苟くも過ち有らば」。順接仮定。

句法 Q17. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如
学。
シ
バ
バ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し学ばば」。「もし学べば」。

句法 Q18. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

学。
ベ
バ

ア 順接仮定 (もし～ならば)

イ 逆接 (たとえ～でも)

ウ 順接確定 (～ので)

▶ 答え：ウ 目印がなく「学べば (已然+ば)」。「学ぶと」。順接確定。

現代語訳 Q19. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 雖 難。 モ シ ト

ア もし難しければ

イ 難しいので

ウ たとえ難しくても

▶ 答え：ウ 「雖」は「いへども」。書き下し「難しと雖も」。「難しいけれども」。逆接。

句法 Q20. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

レ 若 失 時。 シ ハ バ ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し時を失はば」。「もし時機を失えば」。

句法 Q21. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

レ 如 治 民。 シ メ バ ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し民を治めば」。「もし民を治めるなら」。

句法 Q22. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

名
成。
レバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「成れば（已然＋ば）」。「名声を成し遂げると」。順接確定。

句法 Q23. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
難。
カラシトモ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ難からんとも」。「たとえ難しくても」。逆接。

現代語訳 Q24. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

如^シ去^ラ国^ヲ。
レ

ア もし国を去れば

イ たとえ国を去っても

ウ 国を去るので

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し国を去らば」。「もし国を去るならば」。順接仮定。

書き下し Q25. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

苟^ク見^モ利^バ。
レ

ア 苟くも利を見れば

イ 苟くも利を見ば

ウ 苟くも利を見ず

▶ 答え：イ 「苟くも…見ば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「苟くも利を見ば」。「もし利益を見れば」。

句法 Q26. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

位^モ雖^シ高^ト。
レ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ〜でも）

ウ 順接確定（〜ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「位高しと雖も」。「位が高くても」。逆接。

句法 Q27. 次の漢文の条件の種類を、後のア〜ウから選べ。

上行。
へバ

ア 順接仮定（もし〜ならば）

イ 逆接（たとえ〜でも）

ウ 順接確定（〜ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「行へば（已然+ば）」。「上が行えば」。順接確定。

句法 Q28. 次の漢文の条件の種類を、後のア〜ウから選べ。

若用其言。
シキバノヲ
二
一

ア 順接仮定（もし〜ならば）

イ 逆接（たとえ〜でも）

ウ 順接確定（〜ので）

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し其の言を用ゐば」。「もしその言葉を用いれば」。

読み方 Q29. 傍線部「縦」の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで書いたものを選べ。

縦賞。
セラヒトモ

ア もし

イ いへども

ウ たとひ

▶ 答え：ウ 「縦」は「たとひ」。書き下し「縦ひ賞せらるとも」。「たとえ褒美をもらっても」。逆接。

句法 Q30. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如助。
シケバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し助けば」。「もし助けるなら」。

句法 Q31. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

寒来。
タレバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「来たれば（已然＋ば）」。「寒さが来ると」。順接確定。

現代語訳 Q32. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 雖富。ヲリト

ア たとえ富んでいても

イ もし富めば

ウ 富んでいるので

▶ 答え：ア 「雖」は「いへども」。書き下し「富めりと雖も」。「富んでいても」。逆接。

句法 Q33. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

レ 若守約。シラバヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し約を守らば」。「もし約束を守れば」。

書き下し Q34. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

川深。ケレバ

ア 川深からば

イ 川深ければ

ウ 川深しと雖も

▶ 答え：イ 目印がなく「深ければ（已然＋ば）」。「川が深いので」。順接確定。

句法 Q35. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

苟^ク
務^モ
本^メ
。^バ
ラ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「苟くも…務めば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「苟くも本を務めば」。「もし根本に努めれば」。

句法 Q36. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦^ヒ
人^ト
不^モ
知^ラ
。[。]

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ人知らずとも」。「たとえ人が（自分を）認めてくれなくても」。逆接。

句法 Q37. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如
知
過。
シ
ラ
バ
チ
ヲ
レ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し過ちを知らば」。「もし過ちに気づいたら」。

現代語訳 Q38. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

志
立。
テ
バ

ア もし志が立てば

イ たとえ志が立っても

ウ 志が立つと

▶ 答え：ウ 目印がなく「立てば（已然＋ば）」。「志が立つと」。順接確定。

句法 Q39. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

雖有才。
モリト
レ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「才有りと雖も」。「才能があっても」。逆接。

書き下し Q40. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

如用兵。
シキバ
レ

ア 如し兵を用ゐば

イ 如し兵を用ゐれば

ウ 如し兵を用ゐず

▶ 答え：ア 「如し…用ゐば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「如し兵を用ゐば」。「もし軍を動かすなら」。

句法 Q41. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

君正。
シケレバ
レ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「正しければ（已然＋ば）」。「君主が正しければ」。順接確定。

句法 Q42. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
遠。
トモ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ遠くとも」。「たとえ遠くても」。逆接。形容詞に「とも」が付くときは連用形（遠く）。

読み方 Q43. 傍線部「若」の読み方として、ここで最も適切なものを選べ。

若
志
於
仁。
シ
サ
バ
ニ

ア ごとし

イ もし

ウ しく

▶ 答え：イ 条件文の文頭の「若し」は「もし」。書き下し「若し仁に志さば」。「もし仁を目指すならば」。順接仮定。「於」は読まない置き字。

句法 Q44. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

木
朽。
ツレバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「朽つれば（已然＋ば）」。「木が朽ちると」。順接確定。

句法 Q45. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

身
雖死、
名不朽。
レ モスト
レ チ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「身死すと雖も、名朽ちず」。「体は死んでも、名声は朽ちない」。逆接。

現代語訳 Q46. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

如
忍。
シ
バ
バ

ア たとえ耐え忍んでも

イ 耐え忍ぶので

ウ もし耐え忍べば

▶ 答え：ウ 「如し」は「もし」。書き下し「如し忍ばば」。順接仮定。

句法 Q47. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

上
不
信。
レ
レ
バ
ゼ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「信ぜざれば（已然+ば）」。書き下し「上信ぜざれば」。「上に立つ者が（人を）信じないと」。順接確定。

句法 Q48. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
無
位。
レ
ト
モ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ〜でも）

ウ 順接確定（〜ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ位無くとも」。「たとえ位がなくても」。逆接。形容詞に「とも」が付くときは連用形（無く）。

書き下し Q49. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 若シテバ之ヲ○

ア 若し之を捨てば

イ 若し之を捨つれば

ウ 若し之を捨てず

▶ 答え：ア 「若し…捨てば（未然+ば）」は順接仮定。書き下し「若し之を捨てば」。「もしこれを捨てれば」。

句法 Q50. 次の漢文の条件の種類を、後のア〜ウから選び。

レ 見テヲレバ不為○

ア 順接仮定（もし〜ならば）

イ 逆接（たとえ〜でも）

ウ 順接確定（〜ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「為さざれば（已然+ば）」。書き下し「義を見て為さざれば」。「義を見て行わなければ」。順接確定。

句法 **Q51.** 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如
レ
行
之。
シ
ハ
バ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し之を行はば」。「もしこれを行えば」。

句法 **Q52.** 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

行
レ
之。
ヘ
バ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「行へば（已然+ば）」。書き下し「之を行へば」。「これを行うと」。Q51の「行はば」（未然+ば=仮定）との違いに注意。

句法 **Q53.** 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
レ
行
之。
ト
モ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ之を行ふとも」。「たとえこれを行っても」。逆接。

書き下し Q54. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

二 若無恒心。
一

ア 若し恒の心無ければ

イ 若し恒の心無からば

ウ 若し恒の心無し

▶ 答え：イ 「若し…無からば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「若し恒の心無からば」。「もし定まった心がなければ」。

句法 Q55. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

二 無恒産。
一

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「無ければ（已然＋ば）」。書き下し「恒の産無ければ」。「一定の財産がないと」。順接確定。

現代語訳 Q56. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

二 雖 賢者。 ト
一

ア もし賢者であれば

イ 賢者なので

ウ たとえ賢者であっても

▶ 答え：ウ 「雖」は「いへども」。書き下し「賢者と雖も」。「賢者であっても」。逆接。

句法 Q57. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如 得 師。 シ
レ バ フ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し師を得ば」。「もしよい師を得れば」。

句法 Q58. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

良薬
雖苦。

レ

ハ
モ
シ
ト

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「良薬は苦しと雖も」。「良薬は苦いけれども」。逆接。

句法 Q59. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

上
儉。

ナ
レ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「儉なれば（已然+ば）」。書き下し「上儉なれば」。「上に立つ者が儉約であると」。順接確定。

書き下し Q60. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

苟
尽心。

レ

ク
テ
サ
バ
ヲ

ア 苟くも心を尽くさば

イ 苟くも心を尽くせば

ウ 苟くも心を尽くさず

▶ 答え：ア 「苟くも…尽くさば（未然+ば）」は順接仮定。書き下し「苟くも心を尽くさば」。「もし心を尽くせば」。

句法 Q61. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦ヒ
敵クト
強モ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ敵強くとも」。「たとえ敵が強くても」。逆接。形容詞に「とも」が付くときは連用形（強く）。

現代語訳 Q62. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

如シ
得バ
其ノ
道ヲ。

ア たとえ方法を得ても

イ もしその方法を得れば

ウ 方法を得るので

▶ 答え：イ 「如し」は「もし」。書き下し「如し其の道を得ば」。順接仮定。

句法 Q63. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

霜
降。
レバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「降れば（已然＋ば）」。「霜が降りると」。順接確定。

句法 Q64. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

二 雖
一 千
金。
ト

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「千金と雖も」。「千金であっても」。逆接。

書き下し Q65. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

レ 若
読
書。
シ
マ
バ
ヲ

ア 若し書を読めば

イ 若し書を読まず

ウ 若し書を読まば

▶ 答え：ウ 「若し…読まば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「若し書を読まば」。「もし書物を読めば」。アの「読めば」は已然＋ば（確定）の形。

句法 Q66. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

怒過。
サレバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「過ぐれば（已然＋ば）」。「怒りが過ぎると」。順接確定。

句法 Q67. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦得天下。
ヒトモ
二
一

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ天下を得とも」。「たとえ天下を得ても」。逆接。

現代語訳 Q68. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

二
一

如
惜
其
勞。

シ
マ
バ
ノ
ヲ

ア もし苦勞を惜しめば

イ たとえ苦勞を惜しんでも

ウ 苦勞を惜しむので

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し其の勞を惜しまば」。順接仮定。

句法 Q69. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

二
一

流
急。

サ
レ
バ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「急なれば（已然＋ば）」。「流れが速いので」。順接確定。

句法 Q70. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

二
一

雖
富
貴。

モ
ナ
リ
ト

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ〜でも）

ウ 順接確定（〜ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「富貴なりと雖も」。「富み榮えても」。逆接。

書き下し Q71. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

苟問。
クモハバ

ア 苟くも問へば

イ 苟くも問はば

ウ 苟くも問はず

▶ 答え：イ 「苟くも…問はば（未然+ば）」は順接仮定。「もしよく問えば」。

句法 Q72. 次の漢文の条件の種類を、後のア〜ウから選び。

民不信。
レレバゼ

ア 順接仮定（もし〜ならば）

イ 逆接（たとえ〜でも）

ウ 順接確定（〜ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「信ぜざれば（已然+ば）」。書き下し「民信ぜざれば」。「民に信頼されなければ」。
順接確定。

句法 Q73. 次の漢文の条件の種類を、後のア〜ウから選び。

縦^レ有^ト刑^モ。
○

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ刑有りとも」。「たとえ刑罰があっても」。逆接。

現代語訳 Q74. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

如^二有^一天命^{シラバ}。
○

ア たとえ天命があっても

イ 天命があるので

ウ もし天命があるなら

▶ 答え：ウ 「如し」は「もし」。書き下し「如し天命有らば」。順接仮定。

句法 Q75. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

背^レ義^{ケバニ}。
○

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「背けば（已然＋ば）」。書き下し「義に背けば」。「義に背くと」。順接確定。

句法 Q76. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

雖令不從。
モストハ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「令すと雖も従はず」。「命令しても（人々は）従わない」。「令す」は「命令する」という動詞（使役の「しむ」ではない）。論語「其の身正しからざれば、令すと雖も従はず」の後半。逆接。

書き下し Q77. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

若尚儉。
シババヲ

ア 若し儉を尚ばば

イ 若し儉を尚べば

ウ 若し儉を尚ばず

▶ 答え：ア 「若し…尚ばば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「若し儉を尚ばば」。「もし儉約を尊べば」。イの「尚べば」は已然＋ば（確定）の形。

句法 **Q78.** 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

水流。
ルレバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「流るれば（已然＋ば）」。「水が流れ続けると」。順接確定。

句法 **Q79.** 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦費言。
ヤストモヲ
レ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ言を費やすとも」。「たとえ多くの言葉を費やしても」。逆接。

現代語訳 **Q80.** 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

苟當時。
クマラバニ
レ

ア たとえその時にあたって

イ もしその時にあてれば

ウ その時にあたるので

▶ 答え：イ 「苟くも…当たれば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「苟くも時に当たれば」。「もしその時機にあてれば」。

句法 Q81. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

如^レ用^シ我^キ。^バヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「如し」は「もし」。書き下し「如し我を用ゐば」。「もし私を用いれば」。

句法 Q82. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

学^レ之^ベ。^バヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「学べば（已然＋ば）」。書き下し「之を学べば」。「これを学ぶと」。順接確定。

現代語訳 Q83. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

三
人
行。
ヘバ

ア もし三人で行動すれば

イ たとえ三人で行動しても

ウ 三人で行動すると

▶ 答え：ウ 目印がなく「行へば（已然+ば）」。「三人で行動すると」。順接確定。

句法 Q84. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
与
汝。
レ トモ ニ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ汝に与ふとも」。「たとえお前に与えても」。逆接。

書き下し Q85. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

若
聞
之。
レ シカバ ヲ

ア 若し之を聞かば

イ 若し之を聞けば

ウ 若し之を聞かず

▶ 答え：ア 「若し…聞かば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「若し之を聞かば」。「もしこれを聞けば」。

句法 Q86. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

過チテ
而
改ムレバ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「改むれば（已然＋ば）」。書き下し「過ちて改むれば」。「過ちを犯してそれを改めると」。順接確定。「而」は読まない置き字。

句法 Q87. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

雖ニレ
視一レ
死ルガ
如コト
歸ヲシ。

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「死を視ること帰するが如しと雖も」。「死ぬことを、家に帰るのと同じように（恐れずに）思っているといっても」。逆接。

現代語訳

Q88. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

苟
棄
之。
ク
モ
テ
バ
ヲ

ア たとえこれを見捨てても

イ もしこれを見捨てれば

ウ これを見捨てるので

▶ 答え：イ 「苟くも…棄てば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「苟くも之を棄てば」。「もし見捨てれば」。

句法

Q89. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

玉
不
磨。
レ
バ
カ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「磨かざれば（已然＋ば）」。書き下し「玉磨かざれば」。「玉も磨かなければ」。順接確定。

句法

Q90. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

縦
憐。
レ
ム
ト
モ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：イ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ憐れむとも」。「たとえ憐れんでも」。逆接。

書き下し Q91. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

如
レ
歸
仁。
シ
セ
バ
ニ

ア 如し仁に帰すれば

イ 如し仁に帰せず

ウ 如し仁に帰せば

▶ 答え：ウ 「如し…帰せば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「如し仁に帰せば」。「もし仁に従えば」。

句法 Q92. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選び。

名
不
正。
レ
ジ
カ
ラ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「正しからざれば（已然＋ば）」。書き下し「名正しからざれば」。「名分が正しくないと」。順接確定。

現代語訳 Q93. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

力
雖
不
足。
○

レ
レ
モ
ト
ラ

ア たとえ力が足りなくても

イ もし力が足りなければ

ウ 力が足りないので

▶ 答え：ア 「雖」は「いへども」。書き下し「力足らずと雖も」。「力が足りなくても」。逆接。

句法 Q94. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

若
問
其
罪。
○

二
一
シ
ハ
バ
ノ
ヲ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ア 「若し」は「もし」。書き下し「若し其の罪を問はば」。「もしその罪を問うならば」。

句法 Q95. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

二
一

人無遠慮。
ケレバ
キ
リ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「無ければ（已然＋ば）」。書き下し「人遠き慮り無ければ」。「人は遠い先までの考えがないと」。論語「人遠き慮り無ければ、必ず近き憂ひ有り」の前半。順接確定。

書き下し Q96. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ

如
從
言。
シ
ハ
バ
ニ

ア 如し言に従へば

イ 如し言に従はば

ウ 如し言に従はず

▶ 答え：イ 「如し…従はば（未然＋ば）」は順接仮定。書き下し「如し言に従はば」。「もしその言葉に従えば」。

現代語訳 Q97. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

二
縦失寸土。
一

トモ

ヲ

ア もしわずかな土地を失えば

イ わずかな土地を失うので

ウ たとえわずかな土地を失っても

▶ 答え：ウ 「縦ひ」は「たとひ」。書き下し「縦ひ寸土を失ふとも」。逆接。

句法 Q98. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

其身正。
ノ
シケレバ

シケレバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ～でも）

ウ 順接確定（～ので）

▶ 答え：ウ 目印がなく「正しければ（已然＋ば）」。「わが身が正しければ」。順接確定。

句法 Q99. 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

苟義。
ク
チラバ

チラバ

ア 順接仮定（もし～ならば）

イ 逆接（たとえ〜でも）

ウ 順接確定（〜ので）

▶ 答え：ア 「苟くも…義ならば（未然＋ば）」は順接仮定。「もし義にかなうなら」。

句法 Q100. 次の漢文の条件の種類を、後のア〜ウから選べ。

燕雀雖小。
レ 手リト

ア 順接仮定（もし〜ならば）

イ 逆接（たとえ〜でも）

ウ 順接確定（〜ので）

▶ 答え：イ 「雖」は「いへども」。書き下し「燕雀小なりと雖も」。「燕や雀は小さいといっても」。逆接。

採点と振り返り

部	問題数	あなたの正答数
第1部 基礎	20	/20
第2部 標準	30	/30
第3部 応用	30	/30
第4部 入試	20	/20
合計	100	/100

まちがえた問題は、次の3点にもどって確認しましょう。

1. 「如・若」＝もし。「苟」＝いやしくも（もし）。これがあれば順接仮定（ア）。
2. 「雖」＝いへども。「縦」＝たとひ。これがあれば逆接（イ）。
3. 目印がなく「已然形＋ば」なら順接確定（ウ）。「有らば・行かば」（未然形＋ば）は仮定、「有れば・行けば」（已然形＋ば）は確定。

